

米の需要創造ワーキンググループ 中間報告

- 「日本の農林水産行政戦略本部」における「攻めの分野」の一つとして、「米の需要創造」に関する戦略を検討するため、「米の需要創造ワーキンググループ」を立ち上げ、①中食・外食等、②米粉、③輸出に関して、生産者や実需者等の様々な関係者へのヒアリングや調査等を実施。
- これまでの施策を引き続き推進するとともに、今後、特に重点的に取り組むべき方針を整理。

中食・外食等

外国産米の利用・販売機会が増加してきたこと踏まえ、多様な価格帯のうち、特に対応が出来ていない低価格帯の米の需要に国産米を供給できるよう、実需者、生産者にヒアリングをもとに対処方針を以下のとおり整理。

【今後の対応方針】

- ・ 契約遵守に係る「ガイドライン」の作成等
- ・ 「フォーラム」の開催など生産者と実需者等のマッチングの強化
- ・ コスト生産に大ロットで取り組む生産者・産地の掘り起こし



(フォーラム開催のイメージ図)



(産地掘り起こしのイメージ図 (圃場見学))

米粉

米粉については、年々、需要は伸びているものの、小麦粉と比べて高い製造コストの削減を図るため、更なる米粉市場の拡大に向けて、様々な関係者のヒアリングをもとに対処方針を以下のとおり整理。

【今後の対応方針】

- ・ 優良な取組を表彰する「米粉アワード (仮称)」の創設
- ・ 地方自治体や洋菓子関係者等との連携強化、スポーツ関係者など異分野との連携構築
- ・ 学校給食や病院食等での利用促進



(米粉のトレンドグルメ)



(新たなプレーヤーとの連携)

輸出

米の輸出目標の達成に向けて、海外の現地系スーパーにおける総菜コーナーで使用される米を日本産米に転換する取組を行うため、米国内の現地系スーパーにおいて実施した日本産米の使用状況や課題に関する調査等をもとに対処方針を以下のとおり整理。

【今後の対応方針】

- ・ 日本産米の価格でも戦える米国の現地系ハイエンドスーパーを中心に、精米のほか、日本の優れた冷凍技術による冷凍寿司・冷凍おにぎり等のテスト販売を実施
- ・ 国内外において輸出向けの品質・価格を満たした商品の安定供給体制の強化を推進
- ・ 生産コスト低減の推進



(スーパーで販売される寿司 (農水省撮影))



(スーパーで販売されるおにぎり (JETRO撮影))